

令和6年度第1回 まち・ひと・しごと創生総合戦略推進検討会
議事要旨

日時:令和6年(2024年)11月6日(水) 午後2時～3時30分

場所:箕面市役所本館2階 特別会議室

出席:松出委員(座長)、藤井委員(副座長)、小山委員、事務局4名

【議事内容】

1. まち・ひと・しごと創生について

○事務局より資料に沿って説明。「まち・ひと・しごと創生」の概要と総合戦略に基づく本市の取組(国の支援措置活用分)について説明した。

2. KPIの現状値と評価について

○事務局より資料に沿って説明。「第2期箕面市まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び3つの地方創生交付金活用事業にかかる「地域再生計画」に定めるKPIについて評価を実施した。

○利用者数等のKPIについては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響からの立ち直りは一定見られるものの、コロナ前の水準まで回復が見られないものや想定目標値を下回る項目があったことを確認した。

○KPI「新規農林業従事者数」について、年に数件規模で認定農業者が増えていることから、農業公社の雇用数とあわせて認定農業者も計上する等、次回改訂時に見直しを行う。

3. 次期総合戦略について

○事務局より資料に沿って説明。「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」の総括について説明した。

○次期総合戦略(案)に関して、現総合計画(第2期)が市の施策を網羅的に記載できているため、基本的には、現総合戦略の内容を踏襲し、必要に応じた時点修正(見直し)を行う。

○期間について2案(「令和7年度から3年間の計画とする案」と「4年間の計画とする案」)事務局より提案したが、各案にそれぞれメリットがあることから、事務局で判断することについて承認した。

○次回検討会は、次期総合戦略(案)の内容確認、検討を行うため、年度内に開催予定。

以上

第3期
箕面市まち・ひと・しごと創生総合戦略

(案)

令和7年 月

箕面市

目次

第1 箕面市まち・ひと・しごと創生総合戦略について	1
はじめに	1
1 総合戦略の位置づけ	2
2 計画期間	2
第2 基本方針	2
第3 箕面市人口ビジョンの概要	4
1 将来人口推計	4
2 将来展望	6
第4 今後の施策の方向	7
1 政策目標／施策目標の設定	7
2 推進検討会の開催とPDCAサイクル	8
3 政策分野と基本目標の設定	9
4 基本目標と施策の基本的方向、具体的な施策	10
基本目標Ⅰ：新たな価値を産み出す成長産業を創出する	10
基本目標Ⅱ：箕面へ大きなひとの流れを生み出す	12
基本目標Ⅲ：安心して子育てができ、子どもがのびのびと育つ まちをつくる	14
基本目標Ⅳ：地域が連携し、だれもが安全・安心にいきいきと暮らせる まちをつくる	17

第1 第3期箕面市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

はじめに

急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、将来にわたって活力ある日本社会を維持するため、平成26年（2014年）11月に「まち・ひと・しごと創生法」が施行され、同年12月に国において、「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン及び総合戦略（以下、「総合戦略」という。）」が示されました。令和元年12月には、「継続は力なり」という姿勢を基本に、総合戦略の枠組みを引き継ぎつつ、地域におけるSociety5.0の推進や、地方創生SDGsの実現などの新たな視点を加え、「第2期総合戦略」が策定されました。

さらに、令和2年（2020年）1月以降、世界的大流行（パンデミック）とされる新型コロナウイルス感染症の感染拡大等の影響により、社会情勢が大きく変化する中、デジタルの力によって地域の社会課題解決や魅力向上の取組を深化・加速化させるために、第2期総合戦略を抜本的に改訂し、令和5年度（2023年度）を初年度とする「デジタル田園都市国家構想総合戦略（以下、「デジタル総合戦略」という。）」が令和4年（2022年）12月に閣議決定されました。

また、地方創生の取組が始まって10年が経過し、全国各地で地方創生の取組が行われ、様々な好事例が生まれるなどの成果があった一方で、人口減少や東京圏への一極集中の流れを変えるまでには至っていないといった課題も浮き彫りになっています。そこで、多様性の時代の国民の、多様な幸せを実現し、それぞれの地域の「楽しい」取組が広がっていくよう、次の10年を見据えた地方創生2.0を起動させるべく、令和6年（2024年）12月24日に地方創生2.0の「基本的な考え方」がとりまとめられました。

本市においても、国の総合戦略等を参酌しながら、人口の増減等の変化や将来展望を把握し、平成27年（2015年）に「第1期箕面市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、「第1期箕面市総合戦略」という。）」を、令和2年（2020年）に「第2期箕面市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「第2期箕面市総合戦略」という。）」を策定し、取組を進めてきました。

第1期及び第2期箕面市総合戦略で根付いた地方創生の意識をより一層浸透させ、取組効果をさらに向上させるため、「第3期箕面市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、「第3期箕面市総合戦略」という。）」を策定します。第3期箕面市総合戦略では、デジタル技術を活用しながら、将来にわたって活力が持続発展していく都市をめざすべく、施策の推進に取り組んでいきます。

1 総合戦略の位置づけ

第1期箕面市総合戦略とともに、平成27年（2015年）に策定した「箕面市人口ビジョン」では、人口の将来展望について、「子育て施策の効果的な実施により、子育て世代の流入促進、出産しやすい環境整備など、人口増の好循環を生み出し、また、北大阪急行線の延伸とそれに伴うバス路線網の再編による公共交通利便性の飛躍的な向上など、住宅都市の魅力が格段に高まることにより、今後も人口が増え続ける地盤をより強固にし、人口維持・人口増加へつなげていく」こととし、全国と比しても、人口における子どもの割合が多い現在のトレンドを将来的にも維持することを目標としています。

総合戦略においては、上記将来展望の実現に向け、当面の4年間でめざすべき政策・施策の方向やその柱立てをとりまとめることとし、各種個別計画等と整合を図りながら、総合的かつ計画的に施策の推進を図っていきます。

2 計画期間

令和7年度（2025年度）から令和10年度（2028年度）までの4年間とします。

第2 基本方針

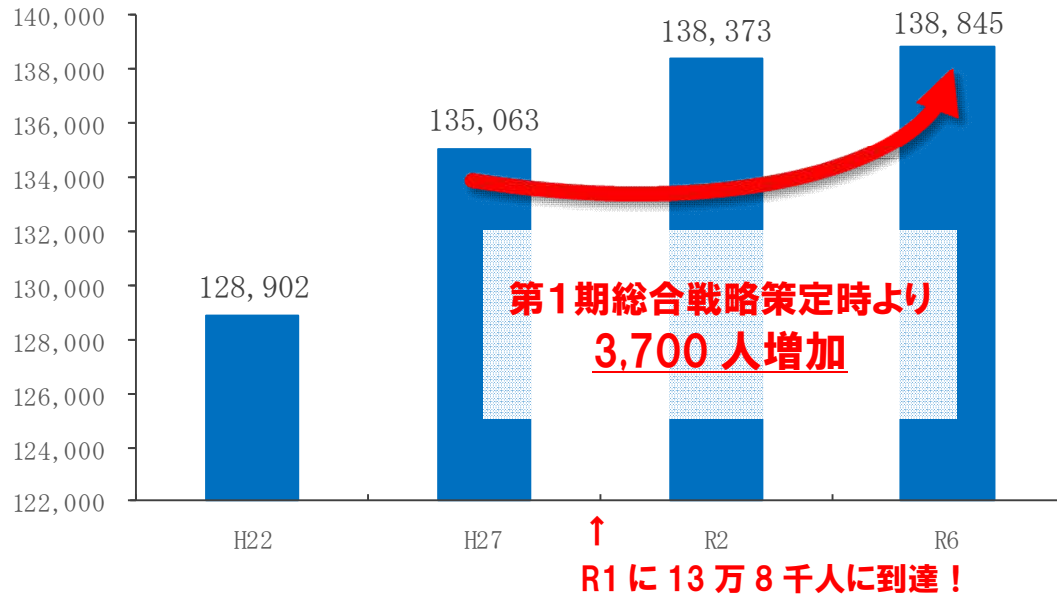
本市においては、平成20年（2008年）を境に毎年、人口が安定的に増加しています。令和2年（2020年）1月以降に全世界で猛威を振るった新型コロナウイルス感染症により、人の移動・外出等が制限されたこともあり、令和4年（2022年）に人口が一時微減しましたが、その後また増加に転じました。大阪府全体の推移を見ると平成22年（2010年）をピークに減少に転じており、平成30年（2018年）と令和5年（2023年）で比較しても大阪府内全体（大阪市を除く）で約3%の減少率、8割以上の市町村で人口が減少という中、箕面市は、約1%の増加率となっています。

魅力あるまちづくりとして、令和6年（2024年）3月に開業した北大阪急行電鉄南北線の整備はもちろんのこと、「子育てしやすさ世界一」を標榜し、子育て支援の充実、子育て世帯の移住・定住の促進という、地方創生の趣旨に沿う取り組みを実施してきた効果がしっかりとあらわれていると考えます。

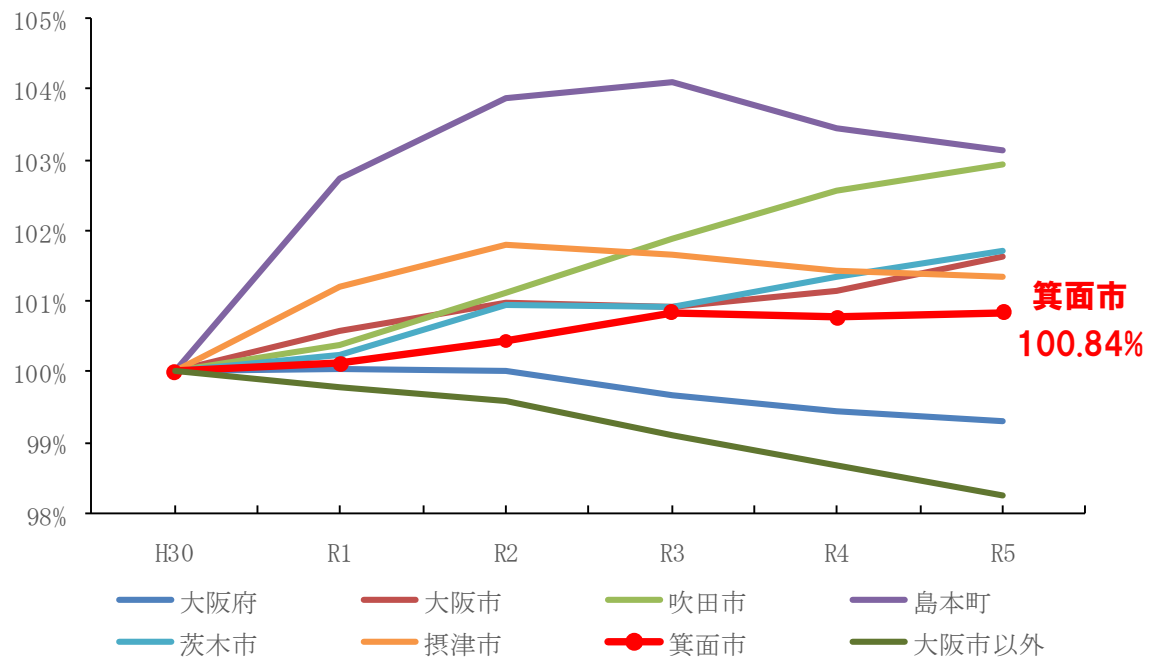
この現状を踏まえ、この度、総合戦略の策定にあたっては、現在実施している施策を肯定しつつ、それらを戦略にまとめることを基本とし、加えて、地方創生に関する国の支援等を最大限活用しながら、地方創生の取り組みをさらに強力に推し進めていく内容を盛り込んでいくものとします。

箕面市の人口推移

※住民基本台帳人口（各年3月31日現在）から



大阪府内の人口推移（対平成30年（2018年）比）



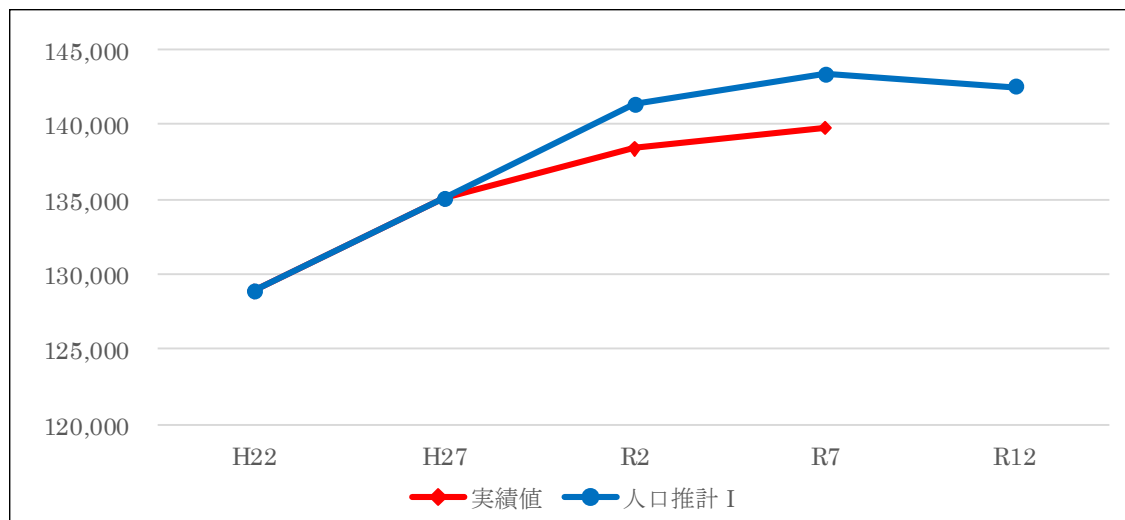
※大阪府の推計人口 令和5年（2023年）年報「市区町村別人口の推移」より
大阪府内の上位1～5位、及び大阪府、大阪市、大阪市以外を掲載

第3 箕面市人口ビジョンの概要（「箕面市人口ビジョン」から一部引用）

1 将来人口推計

前述のとおり、本市の人口は増加傾向にあり、令和元年（2019年）3月には13万8千人、令和6年（2024年）4月には13万9千人に達しました。これは、新市街地、特に森町を中心に子育て層が増加していること、及び北大阪急行電鉄南北線の開業（以下、「北急開業」という。）に合わせて船場地区のまちづくりが進んでいることが主な要因となっています。

平成27年（2015年）に策定した「箕面市人口ビジョン（以下、「人口ビジョン」という。）」では、『人口は2025年まで増加し、14万3千人に達する見込みとなります。』となっています。



※各年3月31日時点。ただし、令和7年の実績値は1月末時点の人口。

実際の推移を見ると、令和7年（2025年）1月末時点では、人口は139,773人となっており、人口推計 I と比較すると約3,500人少なく、約2.5ポイント乖離しています。この乖離の主な要因としては、人口ビジョン策定当時想定していなかった①新型コロナウイルス感染拡大により人の移動が大きく制限されたこと、及び②人口ビジョン策定当初、令和2年度（2020年度）を想定していた北急開業時期が、令和5年度（2023年度）末と約3年延長されたことにより、船場地区の大型マンションの建設・入居時期が変更されたことが考えられます。

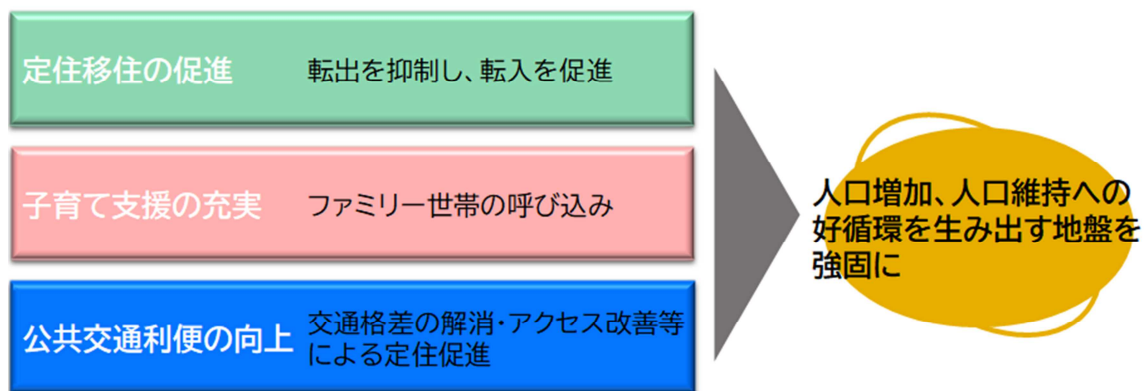
また、人口ビジョンでは『2025年以降は、（途中省略）人口の流入ペースが落ち着くことで、全国傾向と同じく人口は減少していきます』となっていますが、実際には上記②のとおり、北急開業時期が3年延長されたことにより、船場地区のまちづくり

は現在も進行しており、令和7年（2025年）1月以降も、船場地区の大型マンションの建設等による人口流入が続くと想定されています。

これら人口ビジョン策定後の本市を取り巻く社会環境の変化を考慮しつつ、基本的には人口ビジョンの考え方を踏襲した上で今後の将来人口を推計すると、人口ピークについては、人口ビジョン策定当初に想定していた「北急開業から4年後」である令和10年（2028年）とし、人口については、変わらず14万3千人と見込まれます。令和10年（2028年）以降は、船場地区の人口流入ペースが落ち着くことで、全国傾向と同じく人口は減少していくと想定されます。また、総人口が減少する一方、65歳人口は増加すると見込まれ、長期的に見ると、本市においても、人口減少・少子高齢化の影響があらわれてくることが想定されます。

2 将来展望

人口減少による社会経済的な影響を抑えるため、本市においては、子育て支援施策の効果的な実施により、子育て世代の流入促進はもちろんのこと、安心して出産・子育てができる環境整備など、人口増の好循環を生み出し、また、北急開業による市外からのアクセスの向上だけではなく、市内における交通利便性の向上などにより、子どもから高齢者まで豊かに暮らせるまちとして、住宅都市の魅力を高め、今後も人口が増え続ける地盤をより強固にし、人口増加・人口維持へつなげていくこととします。



人口の将来展望として、人口ビジョンでは、平成27年（2015年）時点の本市と全国の子ども率（総人口に対する子どもの割合）の差2.5ポイントを将来的に維持することを目標に掲げています。実際の推移を見ると、全国の子ども率は平成27年（2015年）では12.5%、令和6年（2024年）では11.3%となっています。一方で、本市は平成27年（2015年）は15.0%で、令和6年（2024年）は14.6%となっています。令和6年（2024年）の差は、3.3ポイントと目標値を上回る数値となっています。また、本市においても全国と同じように、子ども率は減少していますが、平成27年（2015年）と令和6年（2024年）を比べると、全国では1.2ポイントの減少となっていますが、本市では、0.4ポイントと、減少が緩やかであることも大きな特徴となっています。

平成27年（2015年）の第1期箕面市総合戦略策定以降、子育て支援施策の充実を図ることにより、施策効果として子ども率に現れていることが推定されますが、人口増加・人口維持のため、引き続き、子ども率が高い現在のトレンドを将来的に維持していくことを目指します。

この将来目標を実現することで、ピーク人口は14万6千人となり、令和7年（2025年）より約7千人増加することが見込まれます。その後は人口減少に転じますが、令和42年（2060年）頃まで現在の人口規模を下回ることはありません。

第4 今後の施策の方向

1 政策目標／施策目標の設定の考え方

国のデジタル総合戦略では、「デジタルの力を活用し、社会課題解決や魅力向上を図るため、重要な要素として4つの類型に分類して取組を推進する」としています。第3期箕面市総合戦略においても、人口ビジョンの将来展望の実現に向けて、国のデジタル総合戦略において施策の方向として示されている「デジタルの力を活用した地方の社会課題解決・魅力向上」の4つの類型に合わせ、かつ、地方創生2.0の基本構想の5つの柱も加味しながら基本目標を設定します。

基本目標の設定に際しては、成果（アウトカム）を重視した数値目標も併せて設定することとします。

加えて、基本目標の達成に向けて、推進していくべき施策の基本的方向を定め、その方向に沿うよう、各政策分野の下に計画期間内に実施する施策を盛り込みますが、施策効果を確実に把握するため、各施策に対し、客観的な重要業績評価指標（KPI※）を設定します。

（国のデジタル総合戦略における施策の方向）

（1）デジタルの力を活用した地方の社会課題解決・魅力向上

- ①地方に仕事をつくる
- ②人の流れをつくる
- ③結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④魅力的な地域をつくる

（2）デジタル実装の基礎条件整備

- ①デジタル基礎整備
- ②デジタル人材の育成・確保
- ③誰一人取り残されないための取組

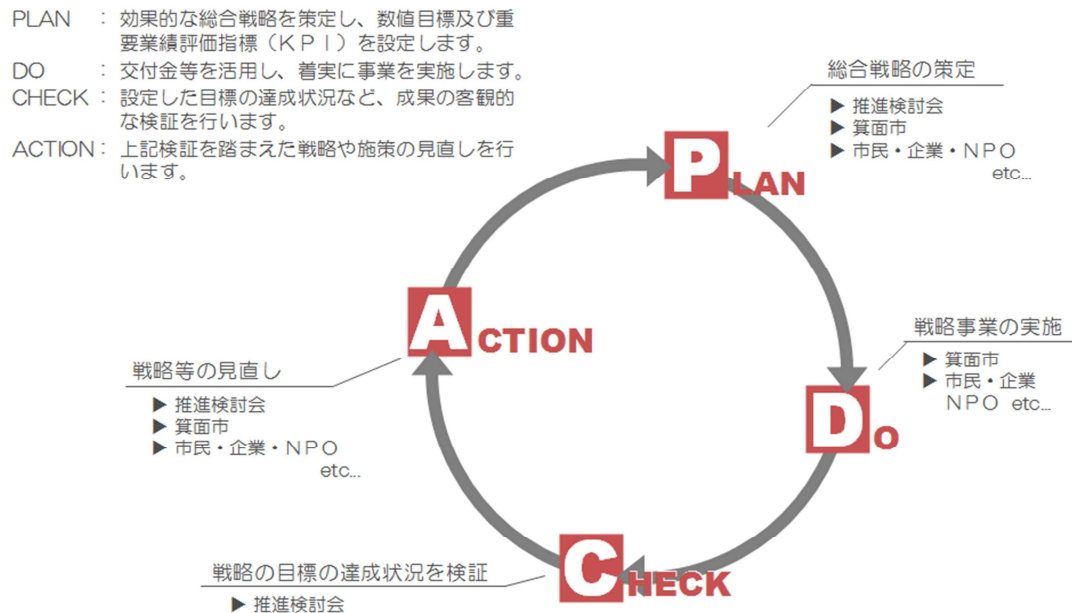
（地方創生2.0の基本構想の5つの柱）

- ①安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生
- ②東京一極集中のリスクに対応した人や企業の地方分散
- ③付加価値創出型の新しい地方経済の創生
- ④デジタル・新技術の徹底活用
- ⑤「産官学金労言」の連携など、国民的な機運の向上

2 推進検討会の開催とPDCAサイクル

第3期箕面市総合戦略の策定にあたり、地域の幅広い関係者の意見を聴きながら、より効果的・効率的にまち・ひと・しごと創生を推進し、目標の確実な達成を図っていくため、産官学金労言をはじめとした外部有識者構成員による「箕面市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進検討会」を開催します。

加えて、本推進検討会では、総合戦略の取り組み状況を客観的に点検・検証することとしており、必要に応じて総合戦略の改訂等も行うなど、PDCAサイクルの重要な役割を担います。



※重要業績評価指標（KPI）・・・Key Performance Indicator の略称。施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標をいう。

3 政策分野と基本目標の設定

本市における人口の現状と将来展望や地域の特性などを踏まえ、国の施策の方向の4つの類型ごとの本市の基本目標を次のとおりとします。

基本目標Ⅰ：新たな価値を産み出す成長産業を創出する

(国の類型①：地方に仕事をつくる)

基本目標Ⅱ：箕面へ大きなひとの流れを生み出す

(国の類型②：人の流れをつくる)

基本目標Ⅲ：安心して子育てができ、子どもがのびのびと育つまちをつくる

(国の類型③：結婚・出産・子育ての希望をかなえる)

基本目標Ⅳ：地域が連携し、だれもが安全・安心にいきいきと暮らせるまちをつくる

(国の類型④：魅力的な地域をつくる)

4 基本目標と施策の基本的方向、具体的な施策

基本目標Ⅰ：新たな価値を産み出す成長産業を創出する

今後、人口減少・高齢化などに伴い市場も大きく変化していくことが予想される中、既存の商業の発展のみならず、新たな価値を産み出す産業の集積を図ると同時に、創業を促すことで、強い産業基盤の創出、市内産業の活性化を図ります。

また、地域に根ざした産業として農業等の発展を図りながら、箕面の大きな魅力である「みどり」を守り育み「みどりあふれるまち」を目指します。

	基準値	数値目標（R10）
①創業者数累計	-	+200 者
②まちなみの美しさに対する満足度	83.5% / R5	87.7%

施策の基本的方向と具体的な施策

1 最先端知的産業等の集積地を形成

バイオ・医薬・食品・コスメ・ヘルスケア等をはじめとする様々なライフサイエンス分野の研究・技術開発機能等を持つ施設の集積を目指す彩都地域や、北急開業により圧倒的に優れた交通利便性「地の利」と、周辺地域に所在する大阪大学や産業技術総合研究所などの研究機関、彩都（茨木市・箕面市）、健都（吹田市・摂津市）の成長産業特別集積区域が産み出す「知の利」が揃う船場地域などに、最先端知的産業等の集積を強力に図っていきます。

（施策例）

- ▶ 産官学が連携し、最先端技術を産み出す産業集積拠点を形成
- ▶ 彩都西部地区、船場地区における企業立地・誘致の促進 etc...

重要業績評価指標（KPI）

- 彩都西部地区内、船場地区内での最先端知的産業等の認定件数
4年間（R7-R10）で3件

2 創業を促す環境づくり

市内産業の活性化・新たな雇用の創出を図るため、潜在的な創業希望者が積極的に創業できる環境づくりを進めます。

(施策例)

- ▶ 創業者向けの融資の斡旋
- ▶ 創業に係る相談窓口の設置
- ▶ 地域の特徴を生かしたビジネスの誕生を促進するための創業者への支援 etc...

重要業績評価指標 (KPI)

- 創業支援事業実施件数 4年間 (R7-R10) で 400 件

3 みどりあふれるまちづくり

農業等の発展を支えるとともに、箕面の大きな魅力である「みどり」を守り育みながら「みどりあふれるまち」を目指します。特に、農業支援による農地の保全や桜の木をはじめとする景観の増進など、都市部に残る貴重な田園風景を守っていきます。

(施策例)

- ▶ 一般社団法人箕面市農業公社の自立支援
- ▶ ゆず産地の支援
- ▶ 農業サポーターの拡充
- ▶ 公園施設のリニューアル
- ▶ 「緑のブランド力」を強化する取り組み
- ▶ 緑豊かな自然環境・良好な住環境の保全 etc...

重要業績評価指標 (KPI)

- 一般社団法人箕面市農業公社の自立 4年間 (R7-R10) 純利益 0 円以上を維持
- 新規農林業従事者数 (箕面市農業公社の雇用数) 4年間 (R7-R10) 4 人／年を維持
- ゆずの収穫量 R4 と R5 : 5,818kg → R9 と R10 : 8,700kg
 ※ゆずは収穫が多い年、少ない年が交互に現れるため、2カ年の平均数値を目標数値とする。
- 山なみのみどりに対する満足度 R5 : 79.6% → R10 : 81.0%
- まちなみの美しさに対する満足度 R5 : 83.5% → R10 : 87.7%

基本目標Ⅱ：箕面へ大きなひとの流れを生み出す

魅力あるまちづくりを進め、住宅都市としての「箕面ブランド」の価値向上を図ると同時に、強力にPRしていくことで市内外の「箕面に住みたい・住みたい」機運の醸成を目指します。

また、自然や歴史・文化などの箕面の魅力を市内外・国内外問わず発信し、箕面をより多くの人に知ってもらい、箕面に興味をもって関わる関係人口・交流人口の増加を目指します。

	基準値	数値目標（R10）
①定住人口の増加	138,845 人 / R6	143,000 人
②明治の森箕面国定公園入込数の増加	1,790,000 人 / R4	2,090,000 人

施策の基本的方向と具体的な施策例

1 多くのひとの「箕面に住みたい」機運を醸成

住宅都市としての魅力向上を図ると同時に、その魅力を内外に強力にPRしていくことで、「箕面に住みたい・住みたい」機運を高め、移住・定住人口の増加につなげます。

（施策例）

- ▶ 箕面への移住・定住を促進
 - ・住みたくなるような箕面のPR冊子やホームページの充実
 - ・企業と連携した地域活性化による魅力向上
 - ・市民生活が便利になるアプリの充実 等
- ▶ 「箕面」を内外に積極的にPR（シティプロモーションの推進）
- ▶ 不動産業者やレジャー施設、商業施設等への積極的な情報提供と連携したPR活動
- ▶ 箕面の中心市街地の活性化や各地域に新たな魅力を生み出す取り組み etc...

重要業績評価指標（KPI）

- 定住人口の増加 R6：138,845 人 → R10：143,000 人
- 住みよさランキング R5：関西（2府4県）5位 → R10：関西1位
- これからも箕面市に住みたいと思う市民の割合 R5：79.8% → R10：84.0%

2 箕面ブランドを向上させる地域資源の磨き上げ

より多くの人に箕面に興味を持ってもらえるよう、箕面が有する自然や歴史・文化などの貴重な地域資源を磨き上げ、「箕面らしさ」や「箕面ならではの」の魅力向上を図ります。また、地域資源を活かしたイベント等を実施するとともに、これらの情報を効果的に発信し、交流人口の増加を目指します。

(施策例)

- ▶ 箕面ならではの情報を地元から SNS や HP で発信
- ▶ 箕面でしか味わえない体験ができるようなイベントの実施やプログラムの開発
- ▶ 箕面の自然や文化、歴史などの地域資源を活かした集客イベントの開催
- ▶ 自然・歴史・文化を活かした観光の推進
- ▶ 阪急沿線周辺商業者や滝道沿道商業者などとの連携による新たなコンテンツの創出
- ▶ 大阪・関西万博を契機とした箕面の魅力向上
 - ・公共施設等における大阪・関西万博資材等のリユースの検討 etc...

重要業績評価指標 (KPI)

- 緑視率の増加 目標値は R7 みどりの基本計画策定時に決定
- 郷土資料館企画展の来場者数 R5 : 9,929 人 → R10 : 10,500 人

3 更なる関係人口の獲得

箕面で生まれ育った、働いたことがあるなど生涯を通じて様々な形で関わりを持つ人々を増加させるとともに、その人たちが一人でも多く、箕面を「ふるさと」として愛着を持ちながら、応援したい、貢献したい、箕面を盛り上げたいと思ってもらえるよう、様々な取組を進めます。

(施策例)

- ▶ 芸術文化、スポーツ、学術といった多様な分野でのイベントの実施・支援
- ▶ 各大学・企業との連携
- ▶ 「みんなの箕面の緑の寄附金」に対する返礼品による魅力発信 etc...

重要業績評価指標 (KPI)

- 集客イベントの参加者数 4年間 (R7-R10) で 3,200 人増加
- 「みんなの箕面の緑の寄附金」でのリピーター数 R5 : 271 人 → R10 : 649 人

基本目標Ⅲ：安心して子育てができ、子どもがのびのびと育つまちをつくる

まち全体で、安心して子どもを育てることのできるまち、子どもがのびのびと育つことのできるまちを目指します。

また、本市に生まれ育つ全ての子どもが幸福に暮らせるよう、保育所・幼稚園・認定こども園・学校、家庭、地域がそれぞれの役割と責任を果たし、強く連携するとともに、大人と子どもが互いに教え学びあい、ともに育つまちづくりに努めていきます。

	基準値	数値目標（R10）
①子育てしやすいまちと思っている市民の割合	59.7% / R5	65.0%
②保育所の待機児童数	6人 / R5	0人

施策の基本的方向と具体的な施策例

1 安心して出産・子育てができ、仕事との両立を実現できる育児環境の充実

子どもが心豊かに健やかに育つために、保健、医療、福祉、教育、労働、住宅その他の幅広い分野において、保育所・幼稚園・認定こども園・学校、家庭、地域がそれぞれの役割と責任を果たし、強く連携しながら、安心して子育てができるまちづくりを目指します。加えて、子育てと仕事の両立が実現できる育児環境を整えます。

（施策例）

- ▶ 妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援
 - ・0歳児を対象とした見守り、おむつ等の支給
 - ・産後ケアの実施、家事支援ヘルパーの派遣 等
- ▶ 子どもの医療費の公費助成
- ▶ 待機児童の解消（1年を通じていつでも入所可能な保育環境の実現）
- ▶ 一時保育、延長保育、休日保育、病児・病後児保育などの充実
- ▶ 保育所・幼稚園・認定こども園・小中学校の幼児・児童・生徒の交流の促進
- ▶ 在宅での子育て支援（子育て支援センターの運営、出張子育てひろばの充実）
- ▶ 子どもを守るための地域ネットワーク機能の強化
- ▶ 子育て支援の場の整備

etc...

重要業績評価指標 (KPI)

- 保育所の待機児童数 R5.4.1 : 6 人 → R10.4.1 : 0 人
- 出張子育てひろばの開催回数 R5 : 196 回 → R10 : 210 回
- 産後ケア（宿泊型・日帰り型・訪問型）の実施数 R5 : 403 件 → R10 : 506 件

2 確かな学力と豊かな心、健康・体力を身につける学校教育の充実

自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力とともに、自らを律しつつ、他人と協調し、他人を思いやる心や感動する心等の豊かな人間性、たくましく生きるための健康や体力等の生きる力を身に付けることができる取り組みを進めます。

(施策例)

- ▶ 小中一貫教育の推進
- ▶ 英語教育の充実
- ▶ プログラミング教育の充実
- ▶ 教育 DX の推進
- ▶ プール授業の民間委託の実施
- ▶ 箕面学力・体力・生活状況総合調査（箕面子どもステップアップ調査）の実施
- ▶ 子どもの読書活動の推進（箕面・世界子どもの本アカデミー賞の開催）
- ▶ 自然体験プログラムの提供
- ▶ 放課後学習支援の充実
- ▶ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置
- ▶ 小中一貫教育推進コーディネーターの配置 etc...

重要業績評価指標 (KPI)

- 箕面市学力・学習状況調査結果
全国平均以上の教科数 R5 : 8 教科 → R10 : 10 教科
- 箕面市体力・運動能力、運動習慣等調査結果
(国平均以上の種目率) R5 : 4.8% → R10 : 32.0%

3 子どもののびのびと遊び、学べる環境づくり

子どもは、自由にのびのびと遊ぶ中で、自然や社会のルール、人間関係を学んでいきます。子どもの成長や安全に配慮しながら、子どもの自主性や感性を育むことができる遊び場を確保していきます。また、豊かな自然環境を活かした遊び場づくりも、市民との協働により進めていきます。

(施策例)

- ▶ 放課後の学校を活用した学び・体験・交流・遊び・生活の場の提供
- ▶ 世代間交流の推進
- ▶ 図書館を活用した子どもの居場所の提供
- ▶ 自由な遊び場開放事業の実施 etc...

重要業績評価指標（KPI）

- 自由な遊び場開放事業の平均利用割合 R5：11.6% → R10：14.2%

基本目標Ⅳ：地域が連携し、だれもが安全・安心にいきいきと暮らせるまちをつくる

自治会を中心とした地域コミュニティを軸に、だれもが安全・安心に、いきいきと暮らせるまちを目指します。

ハード・ソフト両面の対策を進め、より災害・犯罪に強いまちを目指します。また、高齢者から子どもまで、病気の予防と健康づくりに関心を持ち、加えて、多世代交流や障害者が働く事業所への地域支援を促進するなど、市民全員がいきいきと元気に活動ができるまちを目指します。

	基準値	数値目標（R10）
①災害に備えて対策をとっていると考える市民の割合	75.4% / R5	80.0%
②自分が健康であると感じる市民の割合	76.4% / R5	77.0%

施策の基本的方向と具体的な施策**1 より災害・犯罪に強いまちづくりの推進**

地震や風水害などの自然災害による被害を最小限に抑え、市民の生命・財産を守るため、災害危険箇所等への対応とともに、地区防災委員会や自治会などを中心とした地域防災力を高め、災害に強いまちづくりを進めます。また、犯罪のない安全で安心なまちづくりを推進するため、地域の方々による見守り活動と一体となって、犯罪が起こりにくいまち、犯罪を許さないまちの実現に向けた取り組みを進めます。

（施策例）

- ▶ 地区防災委員会への支援
- ▶ 全市一斉総合防災訓練の実施
- ▶ 防災システムの導入
- ▶ タッキー816みのおエフエム等を活用したリアルタイム情報の提供
- ▶ 防犯カメラの設置促進
- ▶ 地域防災ステーションの整備、防災マップの充実
- ▶ 「子どもの安全見まもり隊」による登下校時の見守り活動
- ▶ 小中学校の防犯システム（見守りサービス）の活用
- ▶ 市民安全メールの配信

- ▶ こども110番運動の推進
- ▶ 青色防犯パトロールカーでの巡回パトロール
- ▶ 消防活動及び救急活動の充実・強化 etc...

重要業績評価指標 (KPI)

- 災害に備えて対策をとっていると考える市民の割合 R5 : 75.4% → R10 : 80.0%
- 街頭犯罪認知件数 R5 : 355 件 → R10 : 178 件
- 出火率（人口1万人あたりの出火件数） R5 : 1.9 件 → R10 : 0.9 件

2 だれもが健康で過ごし、活発に活躍することができる環境の充実

元気な高齢者が、その元気を維持・増進し、健康で生きがいを持って、はつらつと活躍・活動できる「健康長寿のまちづくり」を進めます。また、地域において、様々な世代の市民がふれあう機会を創出し、多世代交流を活発化させます。さらに、障害者が働く事業所について、地域での認知度を高め、協力・応援する関係づくりを進めます。

(施策例)

- ▶ 元気な高齢者の健康長寿の推進
- ▶ 高齢者や在宅保育親子の外出を促進
- ▶ 高齢者の社会参加と子育て支援等の組み合わせによるラウンドアバウトのような円滑な多世代交流の機会の創出
- ▶ 医療保健センターなどでの健康指導・食事指導の実施
- ▶ 体を動かす機会の創出
 - ・ ラジオ体操や滝道週末ウォーキング
 - ・ スケートボード体験会
 - ・ 室内温水プールの整備 等
- ▶ 障害者が働く事業所への地域支援の促進、障害者の働く機会の拡大と働きがいの向上
- ▶ 各種健康診査・がん検診の実施
- ▶ 市立病院の医療体制の充実 etc...

重要業績評価指標 (KPI)

- 自分が健康であると感じる市民の割合 R5 : 76.4% → R10 : 77.0%
- スポーツ施設の利用人数 R5 : 334,830 人 → R10 : 408,000 人
- 生涯学習センターなどの利用人数 R5 : 323,241 人 → R10 : 370,000 人
- 障害者が働く事業所を知っている市民の割合 R5 : 59.7% → R10 : 62.0%
- 健康のために体を動かしている市民の割合 R5 : 71.6% → R10 : 73.0%

○地域活動の非参加割合 R5 : 45.8% → R10 : 43.0%

○趣味などの活動への非参加割合 R5 : 57.0% → R10 : 56.0%

3 交通ネットワークの充実

住宅都市としての魅力向上に必要な要素である交通利便性の向上を図り、歩いてどこでも行けるまちを目指します。また、様々な人の外出を促すため、鉄道・バスをはじめとする公共交通から、道路交通、自転車道・歩道など、交通全般に係るネットワークの充実を図ります。

(施策例)

- ▶ バス路線網の再編
- ▶ AI オンデマンド交通の実証運行
- ▶ 箕面グリーンロードの利用促進 etc...

重要業績評価指標 (KPI)

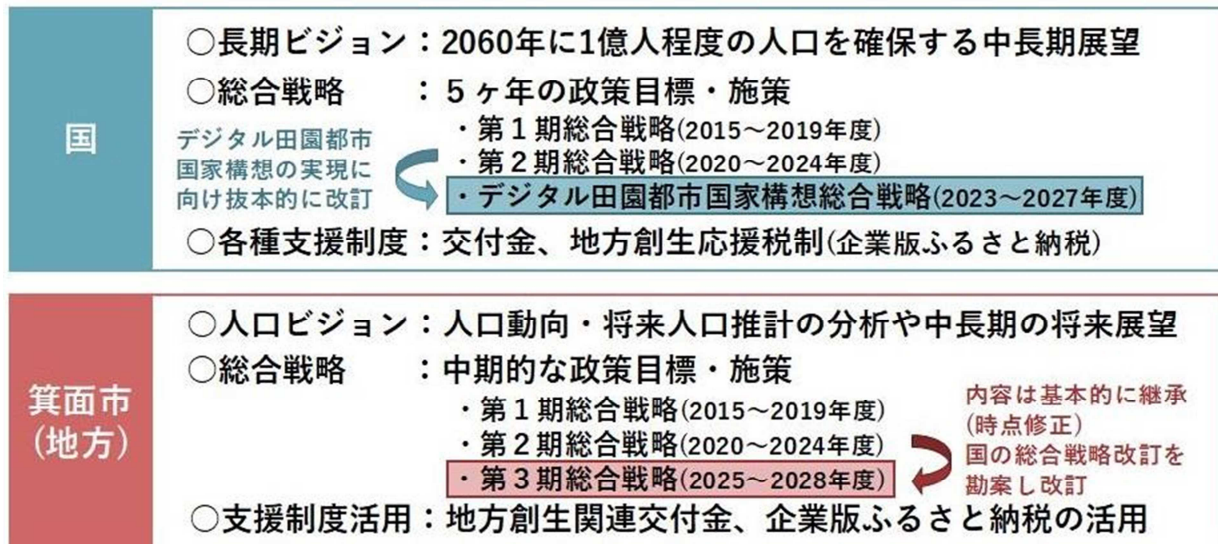
○ 箕面市の魅力が「交通の便」と考える市民の割合 R5 : 10.1% → R10 : 15.0%

○ 一番行く外出先への交通手段が「自家用車」である市民の割合 R5 : 55.94% → R10 : 39.9%

第3期箕面市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について

1. 総合戦略策定の趣旨・目的

- ・平成26年に施行された「まち・ひと・しごと創生法」第10条に基づき策定（努力義務）。
- ・人口急減・超高齢化という我が国が直面する大きな課題に対し政府一体となって取り組み、各地域がそれぞれの特徴を生かした自律的で持続的な社会を創生することを目指す。
- ・箕面市では、平成27年度～第1期、令和2年度～第2期を策定し、今回、令和7年度～4カ年計画の第3期を策定。
- ・なお、総合戦略の策定は、「新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）」の交付要件や企業版ふるさと納税の活用には必須となっている。



2. 計画期間

令和7年度（2025年度）～令和10年度（2028年度）の4カ年

（4カ年にする理由）

- ・国の次期総合戦略が令和10年度～となり、本市の第4期総合戦略の策定と1年間のずれを設けることにより、国の次期総合戦略の内容を精査した上で、第4期総合戦略に反映させることができるため。
- ・現時点の人口推計では、令和10年（令和10年3月）に人口のピークを迎える想定。人口ピークを迎えた後にどのように減少していくかについて、令和10年度に推計し直した上で人口ビジョン（※）を改訂する予定。その人口ビジョンを元に第4期総合戦略を策定することで、より実態に則したものにすることができるため。

※現在の人口ビジョンは平成27年（2015年）に策定したもの。

3. 第2期総合戦略からの主な変更点

基本的には、第2期総合戦略を踏襲（第2期は第1期総合戦略を踏襲）。

● P1 はじめに

- ・国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」（令和5年度閣議決定）や地方創生2.0の「基本的な考え方」（令和6年12月とりまとめ）などの情報を追記。

● P2 基本方針

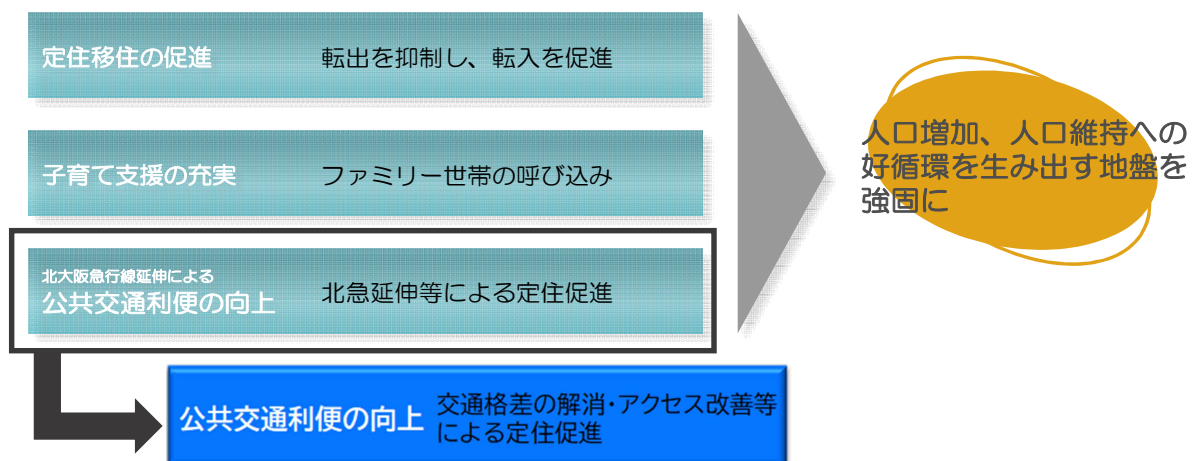
- ・人口推移を現状にアップデート
令和4年に、人口が一時微減したが、その後、また増加に転じている。

● P4 将来人口推計

- ・平成27年策定の「箕面市人口ビジョン」の推計と実態が乖離しているが、①コロナによる人の移動の制限や②北急開業時期が当初より約3年延長されたことによる船場地区の大型マンションの建設の変更が理由。
- ・令和7年1月以降も船場地区の大型マンションの建設等により人口流入が続くと想定し、人口ピークについては人口ビジョンと同じく「北急開業から4年後」として、令和10年として、人口は14万3千人とする。
- ・令和10年以降は、人口ビジョンの推計通り、人口減少・少子高齢化していくと想定。

● P6 将来展望

- ・人口増加・人口維持につなげていく手法の文言を修正。



● P7 政策目標／施策目標の設定の考え方

- ・地方創生2.0の基本構想の5つの柱を追記。文中にもこの5つの柱も加味しながら

基本目標を設定すると記載。

● P9 政策分野と基本目標の設定

- ・基本目標の下に記載の国の類型を書き換え

基本目標Ⅰ：新たな価値を産み出す成長産業を創出する

(国の類型①：地方に仕事をつくる)

基本目標Ⅱ：箕面へ大きなひとの流れを生み出す

(国の類型②：人の流れをつくる)

基本目標Ⅲ：安心して子育てができ、子どもがのびのびと育つまちをつくる

(国の類型③：結婚・出産・子育ての希望をかなえる)

基本目標Ⅳ：地域が連携し、だれもが安全・安心にいきいきと暮らせるまちをつくる

(国の類型④：魅力的な地域をつくる)

● P10 基本目標と施策の基本的方向、具体的な施策

- ・施策の基本的方向・KPI の変更、目標値の見直し、具体的な施策例の変更
(資料4、資料5 参照)
- ・資料4 (施策例比較) 修正・変更箇所は赤字
- ・資料5 (KPI 比較) 新規項目はグレー、文言の修正は赤字

4. 今後のスケジュール

- ・庁内照会（最終確認）を経て、3 月中に策定
→市 HP に掲載

<https://www.city.minoh.lg.jp/eigyau/chihousousei.html>

第2期箕面市まち・ひと・しごと創生総合戦略	
施策例	
基本目標Ⅰ：新たな価値を産み出す成長産業を創出する	
(1) 最先端知的産業等の新たな集積地を形成	産官学が連携し、スポーツと健康をテーマとした施設を整備
	産官学が連携し、最先端技術を産み出す産業拠点を形成
	彩都施設導入地区における企業立地・誘致の促進
	ベンチャー企業の創業支援
(2) 創業を促す環境づくり	新規創業支援融資の斡旋
	創業に係る相談窓口の設置
(3) 広域連携も視野に入れたみどりを守り育む農林業の発展	
	一般社団法人箕面市農業公社の自立支援
	ゆず産地の支援
	レンゲの花畑等の拡大
	農業サポーターの拡充
	「緑のブランド力」を強化する取り組み
	緑豊かな自然環境・良好な住環境の保全
基本目標Ⅱ：箕面へ大きなひとの流れを生み出す	
(1) 多くのひとの「箕面に住みたい」機運を醸成	箕面への移住・定住を促進
	・住みたくくなるような箕面のPR冊子やホームページの充実
	・企業と連携した地域活性化による魅力向上
	・市民生活が便利になるアプリの充実
	住宅展示場や不動産業者への積極的な情報提供と連携したPR活動
	箕面の各地域に新たな魅力を生み出す取り組み
	「あいさつ道路」であいさつ推進の取り組み
(2) 着地型観光の推進による四季通じた観光客の誘致	
	着地型観光の推進
	・「ただ見るだけ」の観光だけではなく、みのおでしか味わえない体験ができるような観光プログラムの開発
	・観光資源の掘り起こしや磨き上げ
	・箕面ならではの旬の情報を地元からSNSやHPで発信
	新緑シーズンなど、季節を意識した集客イベントの開発
	歴史文化を活用した観光の推進
	観光の活動拠点の整備
	観光客の受け入れ環境の整備
(3) 増加する訪日外国人観光客の獲得	
	国外への積極的な観光PR（大阪観光局など関係機関との連携による情報発信等）
	外国人観光客の受け入れ環境充実（観光マップや観光案内板等の多言語化等）
基本目標Ⅲ：安心して子育てができ、子どもがのびのびと育つまちをつくる	
(1) 安心して出産・子育てができ、仕事との両立を実現できる育児環境の充実	
	妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援（妊婦への健康教室・健康相談）
	こんにちは赤ちゃん訪問（乳児家庭全戸訪問事業）
	子どもの医療費の公費助成
	待機児童の解消（1年を通じていつでも入所可能な保育環境の充実）
	一時保育、延長保育、休日保育、病児・病後児保育などの充実
	保育所・幼稚園・認定こども園を活用した子育て支援
	保育所・幼稚園・認定こども園・小中学校の幼児・児童・生徒の交流の促進
	在宅での子育て支援（子育て支援センターの運営、出張子育てひろばの充実）
	子どもを守るための地域ネットワーク機能の強化
	子育て支援の場の整備
(2) 確かな学力と豊かな心、健康・体力を身につける学校教育の充実	
	小中一貫教育の充実
	英語教育の充実（「全学年」で「毎日」実施、ALT（外国語指導助手）の配置）
	箕面学力・体力・生活状況総合調査（箕面子どもステップアップ調査）の実施
	子どもの貧困対策の推進
	子どもの読書活動の推進（箕面・世界子どもの本アカデミー賞の開催）
	自然体験プログラムの提供
	放課後学習支援の充実
	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置
(3) 子どもがのびのびと遊び、学べる環境づくり	
	放課後の学校を活用した学び・体験・交流・遊び・生活の場の提供
	世代間交流の推進
	図書館を活用した子どもの居場所の提供
	自由な遊び場開放事業の実施

第3期箕面市まち・ひと・しごと創生総合戦略	
施策例	
基本目標Ⅰ：新たな価値を生み出す成長産業を創出する	
(1) 最先端知的産業等の新たな集積地を形成	
	産官学が連携し、最先端技術を産み出す産業集積拠点を形成
	彩都西部地区、船場地区における企業立地・誘致の促進
(2) 創業を促す環境づくり	創業者向けの融資の斡旋
	創業に係る相談窓口の設置
	地域の特色を生かしたビジネスの誕生を促進するための創業者への支援
(3) みどりあふれるまちづくり	
	一般社団法人箕面市農業公社の自立支援
	ゆず産地の支援
	農業サポーターの拡充
	公園施設のリニューアル
	「緑のブランド力」を強化する取り組み
	緑豊かな自然環境・良好な住環境の保全
基本目標Ⅱ：箕面へ大きなひとの流れを生み出す	
(1) 多くのひとの「箕面に住みたい」機運を醸成	箕面への移住・定住を促進
	・住みたくくなるような箕面のPR冊子やホームページの充実
	・企業と連携した地域活性化による魅力向上
	・市民生活が便利になるアプリの充実
	「箕面」を内外に積極的にPR（シティプロモーションの促進）
	不動産業者やレジャー施設、商業施設等への積極的な情報提供と連携したPR活動
	箕面の中心市街地の活性化や各地域に新たな魅力を生み出す取り組み
(2) 箕面ブランドを向上させる地域資源の磨き上げ	
	箕面ならではの情報を地元からSNSやHPで発信
	箕面でしか味わえない体験ができるようなイベントの実施やプログラムの開発
	箕面の自然や文化、歴史などの地域資源を活かした集客イベントの開催
	自然・歴史・文化を活かした観光の推進
	阪急沿線周辺事業者や滝道沿道事業者などとの連携による新たなコンテンツの創出
	大阪・関西万博を契機とした箕面の魅力向上
	・公共施設等における大阪・関西万博資材等のリユースの検討
(3) 更なる関係人口の獲得	
	芸術文化、スポーツ、学術といった多様な分野でのイベントの実施・支援
	各大学・企業との連携
	「みんなの箕面の緑の寄附金」に対する返礼品による魅力発信
基本目標Ⅲ：安心して子育てができ、子どもがのびのびと育つまちをつくる	
(1) 安心して出産・子育てができ、仕事との両立を実現できる育児環境の充実	
	妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援
	・0歳児を対象とした見守り、おむつ等の支給
	・産後ケアの実施、家事支援ヘルパーの派遣
	子どもの医療費公費助成
	待機児童の解消（1年を通じていつでも入所可能な保育環境の充実）
	一時保育、延長保育、休日保育、病児・病後児保育などの充実
	保育所・幼稚園・認定こども園・小中学校の幼児・児童・生徒の交流の促進
	在宅での子育て支援（子育て支援センターの運営、出張子育てひろばの充実）
	子どもを守るための地域ネットワーク機能の強化
	子育て支援の場の整備
(2) 確かな学力と豊かな心、健康・体力を身につける学校教育の充実	
	小中一貫教育の充実
	英語教育の充実
	プログラミング教育の充実
	教育DXの推進
	プール授業の民間委託の実施
	箕面学力・体力・生活状況総合調査（箕面子どもステップアップ調査）の実施
	子どもの読書活動の推進（箕面・世界子どもの本アカデミー賞の開催）
	自然体験プログラムの提供
	放課後学習支援の充実
	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置
(3) 子どもがのびのびと遊び、学べる環境づくり	
	放課後の学校を活用した学び・体験・交流・遊び・生活の場の提供
	世代間交流の推進
	図書館を活用した子どもの居場所の提供
	自由な遊び場開放事業の実施

第2期箕面市まち・ひと・しごと創生総合戦略	
施策例	
基本目標Ⅳ：地域が連携し、だれもが安全・安心にいきいきと暮らせるまちをつくる	
	(1)より災害・犯罪に強いまちづくりの推進
	地区防災委員会への支援
	全市一斉総合防災訓練の実施
	防災マップの充実
	タッキー816みのおエフエム等を活用したリアルタイム情報の提供
	防犯カメラの設置促進
	「子どもの安全みまもり隊」による登下校時の見守り活動
	小中学校の防犯システム（見守りサービス）の活用
	市民安全メールの配信
	市内全戸住宅防火診断・火災報知器設置の促進
	こども110番運動の推進
	青色防災パトロールカーでの巡回パトロール
	消防活動及び救急活動の充実・強化
	(2)だれもが健康で過ごし、活発に活躍することができる環境の充実
	元気な高齢者の健康長寿の推進
	高齢者や在宅保育親子の外出を促進
	高齢者の社会参加と子育て支援・就労支援等の組み合わせによるラウンドアバウトのような円滑な多世代交流の機会の創出
	医療保健センターなどでの健康指導・食事指導の実施
	ラジオ体操や滝道週末ウォーキングなど体を動かす機会の創出
	多世代交流センターの利用を促進
	障害者が働く事業所への地域支援の促進
	各種健康診査・がん検診の実施
	市立病院の医療体制の充実
	(3)交通ネットワークの充実
	北大阪急行線の延伸
	バス路線網の再編
	交通広場の整備
	移動困難者の移動を支援
	箕面グリーンロードの利用促進
	自転車道やジョギング道の改良・環境整備

NO

第3期箕面市まち・ひと・しごと創生総合戦略	
施策例	
基本目標Ⅳ：地域が連携し、だれもが安全・安心にいきいきと暮らせるまちをつくる	
	(1)より災害・犯罪に強いまちづくりの推進
	地区防災委員会への支援
	全市一斉総合防災訓練の実施
	防災システムの導入
	タッキー816みのおエフエム等を活用したリアルタイム情報の提供
	防犯カメラの設置促進
	地区防災ステーションの整備、防災マップの充実
	「子どもの安全みまもり隊」による登下校時の見守り活動
	小中学校の防犯システム（見守りサービス）の活用
	市民安全メールの配信
	こども110番運動の推進
	青色防災パトロールカーでの巡回パトロール
	消防活動及び救急活動の充実・強化
	(2)だれもが健康で過ごし、活発に活躍することができる環境の充実
	元気な高齢者の健康長寿の推進
	高齢者や在宅保育親子の外出を促進
	高齢者の社会参加と子育て支援等の組み合わせによるラウンドアバウトのような円滑な多世代交流の機会の創出
	医療保健センターなどでの健康指導・食事指導の実施
	体を動かす機会の創出
	・ラジオ体操や滝道週末ウォーキング
	・スケートボード体験会
	・室内温水プールの整備
	障害者が働く事業所への地域支援の促進、障害者の働く機会の拡大と働きがいの向上
	各種健康診査・がん検診の実施
	市立病院の医療体制の充実
	(3)交通ネットワークの充実
	バス路線網の再編
	AIオンデマンド交通の実証運行
	箕面グリーンロードの利用促進

第2期箕面市まち・ひと・しごと創生総合戦略			
項目	基準値 (R1)	目標 (R6)	評価
基本目標Ⅰ：新たな価値を生み出す成長産業を創出する			
○創業比率	2.43%	5.00%	①
○農薬会社の自立（一般社団法人箕面市農業公社収支改善）	-	純利益0円以上	①
（1）最先端知的産業等の新たな集積地を形成			
○ベンチャー企業の創業支援件数	-	+5件	④
（2）創業を促す環境づくり			
○創業支援事業計画の認定件数	-	+35件	①
（3）みどりを守り育む農林業の発展			
○一般社団法人箕面市農業公社の収支改善	-	純利益0円以上	①
○新規農林業従事者数（箕面市農業公社の雇用数）	-	+5人	②
○ゆずの収穫量（裏年を加味して2カ年平均値とする）	9,300kg	10,300kg	②
○山なみのみどりに対する満足度	82.8%	79.6%	②
○まちなみの美しさに対する満足度	82.6%	87.4%	②
基本目標Ⅱ：箕面へ大きなひとの流れを生み出す			
○定住人口の増加	138,373人	143,000人	②
○観光客数の増加	1,159,000人	1,785,000人	①
（1）多くのひとの「箕面に住みたい」機運を醸成			
○定住人口の増加	138,373人	143,000人	②
○住みよさランキング	4位	1位	③
（2）四季を通じた観光客の集客を促進			
○観光客数の増加	1,159,000人	1,790,000人	①
○郷土資料館企画展の来場者数	18,128人	20,000人	③
（3）増加する訪日外国人観光客の獲得			
○箕面 交通・観光案内所のが異国人観光客の利用者数の増加	2,030人	2,500人	①
基本目標Ⅲ：安心して子育てができ、子どもがのびのびと育つまちをつくる			
○子育てしやすいまちと思っている市民の割合	67.2%	80.0%	②
○保育所の待機児童数	0人	0人	②
（1）安心して出産・子育てができ、仕事との両立を実現できる育児環境の充実			
○保育所の待機児童数	0人	0人	②
○学童保育の待機児童数	0人	0人	①
○妊婦健康診査の助成回数	11,661回	14,406回	②
○出張子育てひろばの開催回数	224回	250回	②
（2）確かな学力と豊かな心、健康・体力を身につける学校教育の充実			
○箕面市学力・学習状況調査結果（国の平均正答率以上の項目率）	100%	100%	①
○箕面市体力・運動能力、運動習慣等調査結果（国平均以上の種目率）	8.3%	100%	③
（3）子どもがのびのびと遊び学べる環境づくり			
○自由な遊び場開放事業の平均利用割合	16.1%	18.0%	③
基本目標Ⅳ：地域が連携し、だれもが安全・安心にいきいきと暮らせるまちをつくる			
○災害に備えて対策をとっている市民の割合	76.6%	75.4%	②
○自分が健康であると感じる市民の割合	79.7%	81.0%	②
（1）より災害・犯罪に強いまちづくりの推進			
○災害に備えて対策をとっている市民の割合	76.6%	95.0%	②
○不審者情報配信件数(4月～8月末)	5件	3件	③
○街頭犯罪認知件数	234件	137件	②
○出火率（人口1万人あたりの出火件数）	1.7件	1.3件	②
○住宅用火災警報器の設置率	84.0%	93.5%	②
（2）だれもが健康で過ごし、活発に活躍することができる環境の充実			
○自分が健康であると感じる市民の割合	79.7%	81.0%	②
○スポーツ施設の利用人数	395,949人	428,700人	②
○生涯学習センターなどの利用人数	330,714人	370,000人	②
○障害者が働く事業所を知っている市民の割合	57.1%	60.0%	②
○健康のために体を動かしている市民の割合	71.4%	75.0%	②
○地域活動の非参加割合	41.7%	31.0%	②
○趣味などの活動への非参加割合	56.7%	57.0%	②
（3）交通ネットワークの充実			
○バスの1日の乗降者数	33,720人	34,054人	④
○徒歩・自転車で移動する人の割合	26.1%	28.0%	④

NO 考え方

第3期箕面市まち・ひと・しごと創生総合戦略				
項目		基準値 (R5)	目標 (R10)	備考 (目標の算出方法の考え方)
基本目標Ⅰ：新たな価値を生み出す成長産業を創出する				
○創業者数累計		-	+200者	R7-R10の4年間で+200者。R3-R6のデータを元に下垂移動平均法でR7は48と予測。市内創業率を考慮し48者×85%=40者。+支援制度創設により+10件として、50者／年とする。
○まちなみの美しさに対する満足度		83.5%	87.7%	市民満足度アンケート（「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合）。R3とR5を比較、2.1ポイント上昇。2年ごとに2.1ポイントずつ上昇するとして、4年間で4.2ポイントの上昇として、基準値83.5%+4.2%=87.7%を算出。
（1）最先端知的産業等の新たな集積地を形成				
○彩都西部地区内、船場地区内での最先端知的産業等の認定件数		-	+3件	R7-R10の4年間で+3件。「地域未来投資促進法に基づく箕面市基本計画」（～R9年度末）のKPI目標値と統一。
（2）創業を促す環境づくり				
○創業支援事業実施件数		-	+400件	R7-R10の4年間で+400件。創業支援対象者数100人／年＝特定創業支援等事業計画に基づく目標創業支援等対象者。
（3）みどりあふれるまちづくり				
○一般社団法人箕面市農業公社の自立		-	4年間（R7-R10）純利益0円以上を維持	第2期は目標を達成しているため、第3期は「4年間維持」とする。
○新規農林業従事者数（箕面市農業公社の雇用数）		-	4年間（R7-R10）4人／年を維持	第2期は、期間中3人（R3のみ5人）が従事していたため、1人増やして「4人／年」を維持とする。
○ゆずの収穫量（裏年を加味して2カ年平均値とする）		5,818kg (R4とR5)	8,700kg (R9とR10)	第2期中の最高値（R2）を切り上げた数値とする。
○山なみのみどりに対する満足度		79.6%	81.0%	市民満足度アンケート（「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合）。R3とR5を比較、0.7ポイント上昇。2年ごとに0.7ポイントずつ上昇するとして、4年間で1.4ポイントの上昇として、基準値79.6%+1.4%=81.0%を算出。
○まちなみの美しさに対する満足度		83.5%	87.7%	市民満足度アンケート（「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合）。R3とR5を比較、2.1ポイント上昇。2年ごとに2.1ポイントずつ上昇するとして、4年間で4.2ポイントの上昇として、基準値83.5%+4.2%=87.7%を算出。
基本目標Ⅱ：箕面へ大きなひとの流れを生み出す				
○定住人口の増加		138,845人	143,000人	基準値は、R6.3.31時点。人口ビジョンの目標値。
○明治の森箕面国定公園入込数の増加		1,790,000人	2,090,000人	基準値はR4実績。明治の森箕面国定公園入込数（環境省）。R2-R5で270千人増加。切り上げて4年間で300千人増加するとして、基準値1,790,000人+300,000人＝2,090,000人。
（1）多くのひとの「箕面に住みたい」機運を醸成				
○定住人口の増加		138,740人	143,000人	人口ビジョンの目標値。
○住みよさランキング		5位	1位	
○これからも箕面市に住みたいと思う市民の割合		79.8%	84.0%	市民満足度アンケート（「これからもずっと住み続けたい」「転職などやむをえない事情がない限り住み続けたい」と回答した人の割合）。R7-R10の4年間で+4ポイント。
（2）箕面ブランドを向上させる地域資源の磨き上げ				
○緑視率の増加		-	R7みどりの基本計画策定時に決定	（緑視率：人の視界に占める緑の割合）R7策定予定のみどりの基本計画にて調査予定。翌年以降は簡易的な計測を実施予定。
○郷土資料館企画展の来場者数		9,929人	10,500人	R3-R5で265人増加。2年ごとに265人増加するとして、基準値9,929人+（265人×2）＝10,459人を切り上げた数値とする。
（3）更なる関係人口の獲得				
○集客イベントの参加者数		-	+3,200人	市外からも集客を見込めるイベント（キャンドルロードともみじまつり期間中の1日平均あたりの入込数）の参加者数合計とする。R5-R6もみじまつり1日平均の入込数+783人を切り上げて+800人／年とする。
○「みんなの箕面の緑の寄附金」でのリピーター数		271人	649人	前年度と比較した、当年度に再度本市へ寄附をした寄附者の人数の増加分。R7：396人、R8：467人、R9：551人、R10：649人をめざす。
基本目標Ⅲ：安心して子育てができ、子どもがのびのびと育つまちをつくる				
○子育てしやすいまちと思っている市民の割合		59.7%	65.0%	市民満足度アンケート（「思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合）。第2期中の最高値（R3）を切り上げた数値とする。
○保育所の待機児童数		6人	0人	各年度4月1日現在の待機児童数。
（1）安心して出産・子育てができ、仕事との両立を実現できる育児環境の充実				
○保育所の待機児童数		6人	0人	各年度4月1日現在の待機児童数。
○出張子育てひろばの開催回数		196回	210回	第2期中の最高値（R4）を切り上げた数値とする。
○産後ケア（宿泊型・日帰り型・訪問型）の実施数		403件	506件	子どもプラン「地域子ども・子育て支援事業」での提供量の見込み
（2）確かな学力と豊かな心、健康・体力を身につける学校教育の充実				
○箕面市学力・学習状況調査結果の全国平均以上の教科数		8教科	10教科	小学校（5教科）と中学校（5教科）の合計。
○箕面市体力・運動能力、運動習慣等調査結果（国平均以上の種目率）		4.8%	32.0%	第2期中の最高値（R2）を切り上げた数値とする。
（3）子どもがのびのびと遊び学べる環境づくり				
○自由な遊び場開放事業の平均利用割合		11.6%	14.2%	R3-R5で1.3ポイント上昇。2年ごとに、1.3ポイント上昇するとして、基準値11.6%+2.6%＝14.2%を算出。
基本目標Ⅳ：地域が連携し、だれもが安全・安心にいきいきと暮らせるまちをつくる				
○災害に備えて対策をとっている市民の割合		75.4%	80.0%	市民満足度アンケート（「あなたの家庭では、火災や地震などの災害に備えて、何か対策を取っていますか」に対し「とっている」と回答した人の割合）。第2期中の最高値（R3）を切り上げた数値とする。
○自分が健康であると感じる市民の割合		76.4%	77.0%	市民満足度アンケート（「あなたは自分の健康についてどのようにお考えですか」に対し「とても健康である」「健康である」と答えた人の割合）。R3-R5で、0.1ポイント上昇。2年ごとに0.1ポイント上昇するとして、基準値76.4%+0.2%＝76.6%を切り上げた数値とする。
（1）より災害・犯罪に強いまちづくりの推進				
○災害に備えて対策をとっている市民の割合		75.4%	80.0%	市民満足度アンケート（「あなたの家庭では、火災や地震などの災害に備えて、何か対策を取っていますか」に対し「とっている」と回答した人の割合）。第2期中の最高値（R3）を切り上げた数値とする。
○街頭犯罪認知件数		355件	178件	第2期中の最高値（R3）とする。
○出火率（人口1万人あたりの出火件数）		1.9件	0.9件	第2期中の最高値（R2）とする。
（2）だれもが健康で過ごし、活発に活躍することができる環境の充実				
○自分が健康であると感じる市民の割合		76.4%	77.0%	市民満足度アンケート（「とても健康である」「健康である」と答えた割合）。R3-R5で0.1ポイント上昇。2年間で0.1ポイント上昇するとして、基準値76.4%+0.2%＝76.6%を切り上げた数値とする。
○スポーツ施設の利用人数		334,830人	408,000人	R2-R5で73,100人増加。4年間で73,100人増加すると想定して、基準値334,830人+73,100人＝407,930人を切り上げた数値とする。
○生涯学習センターなどの利用人数		323,241人	370,000人	「教育委員会活動の点検及び評価に関する報告書」で設定している目標値と合わせる。
○障害者が働く事業所を知っている市民の割合		59.7%	62.0%	R3-R5で1.1ポイント上昇。2年ごとに、1.1ポイント上昇するとして、基準値59.7%+2.2%＝61.9%を切り上げた数値とする。
○健康のために体を動かしている市民の割合		71.6	73.0%	第2期中の最高値（R3）を切り上げた数値とする。
○地域活動の非参加割合		45.8%	43.0%	第2期中の最高値（R3）を切り下げた数値とする。
○趣味などの活動への非参加割合		57.0%	56.0%	第2期の基準値（R1）を切り下げた数値とする。
（3）交通ネットワークの充実				
○箕面市の魅力が「交通の便」と考える市民の割合		10.1%	15.0%	市民満足度アンケート（「あなたが思う箕面市の魅力」において、「交通の便が良い」と回答した人の割合）。
○一番行く外出先への交通手段が「自家用車」である市民の割合		55.9%	39.9%	市民満足度アンケート（「自家用車」と回答した人の割合）。地域公共交通計画のKPIと合わせる（R3 56.3%→R12 35.2%）。

第3期箕面市まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPIについて

資料6

(参考1) 第2期箕面市まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価について

1. KPIの評価指標

(1) 各年度の達成状況

毎年度一律の割合でKPIが増加（減少）して数値目標（R6）に達すると仮定して割り出した期待値に対し、現状値を評価したものの。

◎	【達成度：100%以上】順調に進捗している。
○	【達成度：100%未満～70%以上】概ね順調に進捗している。
△	【達成度：70%未満】地方創生への効果を高めるため、改善が必要である。
-	【判断保留】今後実施する統計調査等で実績値を把握する。

(2) 最終の評価指標…「評価」欄

①	最終、目標を達成したもの
②	最終、目標値には至らなかったが、達成状況が○又は◎を過半数年度占めるもの（3/5年度、または1/2年度）
③	最終、目標値には至らず、かつ各年度の達成状況が△を過半数年度占めるもの
④	判断保留のもの

(参考2) 第3期総合戦略への評価指標の基本的な考え方

目標指標	基本的な考え方
① 目標を達成したもの	案①-1 目標値を上方修正する 案①-2 KPI（項目）を変更する
② 最終、目標値には至らなかったが、達成状況が○又は◎を過半数年度を占めるもの	案②-1 目標値を下方修正する 案②-2 （第2期期間中の増加数・率の状況を鑑みて）目標値を上方修正する
③ 最終、目標値には至らず、かつ各年度の達成状況が△を過半数年度占めるもの	案③-1 目標値を下方修正する 案③-2 KPI（項目）を変更する
④ 判断保留のもの	案④-1 KPI（項目）を変更する
⑤ その他	新 新規のKPI（項目）を設定する 維持 引き続き、第2期の目標値を設定する